

【様式1】

岡山県運動部活動の在り方に関する「運動部活動方針」実践推進事業 実践事例集

- I 部活動を通じた食育の推進
- II 合理的でかつ効率的・効果的な活動実践
- III ライトスポーツの実践

【岡山県立 岡山大安寺中等教育学校】

| | |
|---------------------|--|
| 1 実践テーマ | Ⅲライトスポーツの実践 |
| 2 実施対象部活 (学年・人数) | ライトスポーツのべ参加者 第1回 29名 (1年10名、2年13名、3年6名) 第2回 29名 (1年13名、2年11名、3年3名、5年2名) 第3回 23名 (1年8名、2年7名、3年2名、4年4名、5年2名) |
| 3 実施期間 | 令和5年7月～令和5年12月 |
| 4 達成目標 | ○ライトスポーツについての理解が深かまる。 ○アンケートの結果からスポーツを行う楽しさや仲間と協力する重要性について理解度・満足度の項目が回を重ねるごとに高くなる。 ○アンケート結果から本校生徒のスポーツに対する課題や対策・実施上の課題や対策が確認できるようになる。 |
| 5 取組内容 | ○年3回の講座の実施 (レクリエーションスポーツの実施) ○対象生徒：文化部を中心に運動部や有志 ○指導者：本校教員、外部講師 ○会場：体育館、グラウンド ○実施概要 第1回：7月15日(土)9時～11時 種目：キンボール(体育館) 参加人数：29名(1年10名、2年13名、3年6名) (運動部17名、文化部10名、所属なし2名) 講師：本校保健体育科教員 本校1年生で実施しているオリエンテーションキャンプや球技大会でも実施したことのあるキンボールを実施した。 |



生徒にとっては、なじみのある種目だったので取組やすい種目となった。4人1組でチームを組み大きなボールをヒットやレシーブを繰り返しながらミスをしたチーム以外に得点の入るゲーム。



特にヒットする選手が「オムニキン」と大きな声を出しながらボールを打つので見ている側も面白いスポーツになっている。

第2回：12月9日（土）9時～10時30分

種目：ディスクゴルフ（グラウンド）

※雨天の場合は、体育館での実施を予定していた。

参加人数：第2回29名（1年13名、2年11名、3年3名5年2名）

（運動部10名、文化部16名、所属なし3名）

講師：家元 秀幸先生（岡山県ディスクゴルフ協会）



ディスクゴルフは、通常のゴルフで使用するボールの代わりにディスクを使用して行うスポーツ。ルールは、通常のゴルフと同じでティーから投げ、ゴールに何投で入れるか、投げた数の少ないほうが勝つというもの。

講師の家元先生は、選手としても数々の大会で優秀な戦績を収められた実力の持ち主で、そのため実演での指導が大変充実していた。



第3回：12月20日（水）11時30分～13時

種目：ミニテニス（体育館）

第3回23名（1年8名、2年7名、3年2名、4年4名、5年2名）（運動部7名、文化部14名、所属なし2名）

講師：毛利 光也先生（うらじゃ岡山ミニテニスクラブ） 他スタッフ3名

ミニテニスは、テニスラケットを小さくしたものと、ビニール製のボールを使ってバドミントンコートで行う。ワンバウンドしたボールを相手コートに打ち返すことを基本としたスポーツでテニスやソフトテニスを経験したことがある人は、すぐに慣れて楽しむことができるスポーツ。



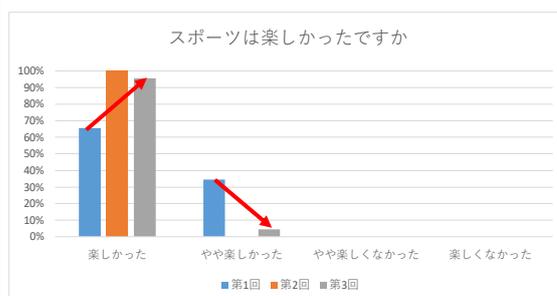
講師のうらじゃ岡山ミニテニスの先生方が丁寧に指導してくださったため生徒たちは、どんどん上達することができた。また、年配の先生との交流が生徒にとっても新鮮で貴重な体験となった。

6 取組における工夫点

- 種目を選ぶ際に学校の授業で取り組んだことのある種目、今まで生徒が取り組んだことが無さそうな種目、今後の授業の中でも取り組めそうな種目を意識して選択した。
- 普段運動をしていない文化部を中心に生徒会執行部から呼びかけを行った。
(生徒集会での告知、生徒会新聞での宣伝など)
- 仲間との触れ合いが多くなるような種目を選んで実施した。

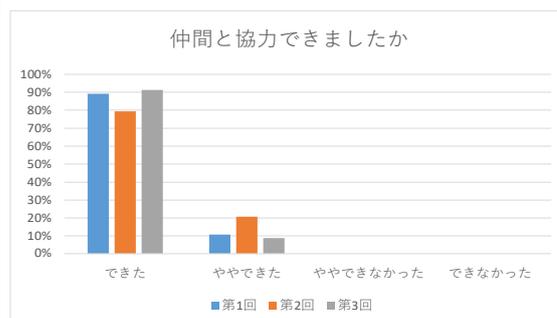
7 主な成果

スポーツの楽しさ (事後アンケート)



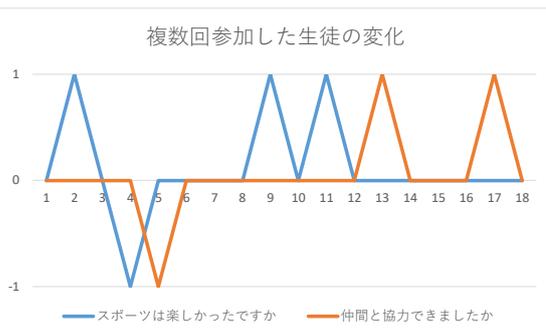
楽しさを感じる生徒の割合が増加した。

仲間との協力 (事後アンケート)



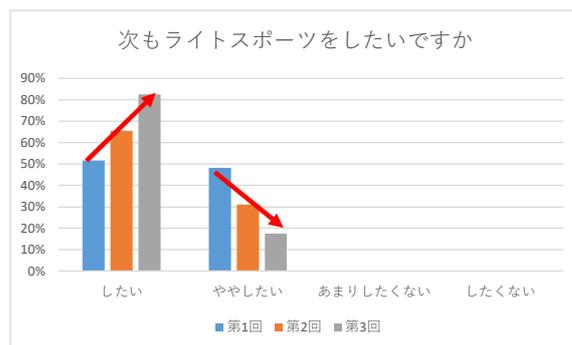
意識が高い生徒の参加が多かった。

複数回参加した生徒（18名）の変化（事後アンケート）



回を追うごとにスポーツの楽しさ仲間との協力について意識が向上した生徒が下がった生徒よりも多かった。意識が高かった生徒は下がることはほぼなかった。

次もライトスポーツをしたいですか（事後アンケート）



回を重ねるごとに興味が高まった。

- ・ライトスポーツへの興味が高くなっていき、理解が深まっていると考えられる。
- ・スポーツを行う楽しさや仲間と協力する重要性について理解度・満足度が回を重ねるごとに高くなる生徒が、低くなる生徒を上回った。
- ・スポーツの楽しさを意識した生徒が回を重ねるごとに増えた。
- ・3回の実施後に有志の生徒からライトスポーツで実施した競技を行いたいと要望があったためキンボール、ミニテニスを実施した。

8 主な課題等

- ・参加生徒がのべ81名で、まだ運動に親しめていない生徒が大勢いると考えられる。
- ・参加した生徒にも、今後につながるような情報提供ができていない。
- ・生徒が自ら情報を取得して、スポーツに親しむような仕組み作りが必要である。
- ・今回参加した生徒を核として、他の生徒にも輪を広げるためのフィードバックする場の提供が必要だと考えられる。

9 提案等

- ・外部講師をお願いすると専門的な指導が受けられると共に、普段関わることのない大人との関わりが生徒にとって刺激となっていたので効果的と思われる。
- ・種目は、授業にも取り入れられるかなども考慮して選ぶとその後も実施しやすい。